

# 平成 27 年度 動物実験実施状況

神奈川工科大学

平成 28 年 12 月

## 1. 実験動物の飼養及び保管状況

### (1) 動物種

- ・ マウス、ラット

### (2) 動物数

- ・ 平成 28 年 3 月 31 日時点での飼養数  
マウス：0、ラット：0

### (3) 施設の情報

- ・ 飼養保管施設の総数：1
- ・ 飼養保管施設の名称：バイオサイエンスセンター

## 2. 平成 27 年度動物実験計画書の承認件数

- ・ 24 件

## 3. 平成 27 年度教育訓練の実績

- ・ 実施月日：平成 27 年 4 月 3 日
- ・ 実施内容の概略：栄養生命科学科の助手（1 名）に対して、学生指導するにあたり、科学的観点、動物愛護の観点、環境保全の観点及び安全確保の観点から、神奈川工科大学動物実験規程及び内規に従い、教育訓練を実施した。
  
- ・ 実施月日：平成 27 年 4 月 8 日
- ・ 実施内容の概略：栄養生命科学科 2 年 2 組の学生（38 名）に対して、科学的観点、動物愛護の観点、環境保全の観点及び学生の安全確保の観点から、神奈川工科大学動物実験規程及び内規に従い、教育訓練を実施した。
  
- ・ 実施月日：平成 27 年 5 月 20 日
- ・ 実施内容の概略：応用バイオ科学科の新任教員（1 名）4 年生（4 名）、栄養生命科学科 4 年の学生（4 名）に対して、科学的観点、動物愛護の観点、環境保全の観点及び学生の安全確保の観点から、神奈川工科大学動物実験規程並びに内規に従って教育訓練を実施した。
  
- ・ 実施月日：平成 27 年 5 月 21 日
- ・ 実施内容の概略：応用バイオ科学科の 4 年生（1 名）、栄養生命科学科

の4年生（2名）に対して、科学的観点、動物愛護の観点、環境保全の観点及び学生の安全確保の観点から神奈川工科大学動物実験規程及び内規に従い、教育訓練を実施した。

- ・実施月日 : 平成27年6月10日
- ・実施内容の概要 : 栄養生命科学科の2年1組の学生（35名）に対して、科学的観点、動物愛護の観点、環境保全の観点及び学生の安全確保の観点から神奈川工科大学動物実験規程及び内規に従い、教育訓練を実施した。
  
- ・実施月日 : 平成27年12月21日
- ・実施内容の概要 : 応用バイオ科学科の3年生の学生（12名）に対して、神奈川工科大学動物実験規程及び内規に従い、教育訓練を実施し、周知徹底を行った。
  
- ・実施月日 : 平成28年1月6日
- ・実施内容の概要 : 栄養生命科学科の3年生の学生（7名）に対して、科学的観点、動物愛護の観点、環境保全の観点及び学生の安全確保の観点から神奈川工科大学動物実験規程及び内規に従い、教育訓練を実施し、周知徹底を行った。
  
- ・実施月日 : 平成28年2月24日
- ・実施内容の概要 : 応用化学科の教員（2名）に対して、科学的観点、動物愛護の観点、環境保全の観点及び学生の安全確保の観点から神奈川工科大学動物実験規程及び内規に従い、教育訓練を実施し、周知徹底を行った。

#### 4. 動物実験委員会

- ・動物実験に関して優れた識見を有する者：  
    応用バイオ科学部 栄養生命科学科 教授 1名
- ・実験動物に関して優れた識見を有する者  
    応用バイオ科学部 応用バイオ科学科 教授 1名
- ・その他学識経験を有する者

応用バイオ科学部 栄養生命科学科 教授 1名  
応用バイオ科学部 応用バイオ科学科 教授 1名